

議会だより さん のへ

第205号（令和7年6月議会号）

P2	6月定例会情報
P3	6月定例会で決まったこと
P4	一般質問（6議員）
P10	議会活動レポート（3常任委員会）
P11	研修報告
P12	人事案件、次回議会予定、編集後記

— 地域のために汗を流す —

三戸学園の小中学生が資源回収活動に元気いっぱい取り組みました。新聞や瓶を分別しながら声をかけ合い、協力してテキパキと作業を進める子どもたち。暑い中でも笑顔忘れず、地域のためにがんばる姿が光っていました。



6月定例会情報

第524回三戸町議会定例会

6月2日

開会、提案理由の説明

提出された議案の内容と提案理由について
提出者（町長または議員）が説明します。

6月4日

一般質問（4～7ページ）

6月5日

一般質問（8～9ページ）、
議案審議・採決、閉会

〈議案第35号〉 三戸町宿泊施設の誘致に関する条例の制定について

Pick up 1

宿泊施設誘致のための
条例を制定します。

町内へ宿泊施設を誘致するための優遇
措置を定めます。

- ▶開業から15年間、固定資産税を全額減免
- ▶開業から5年間、事業用の上下水道使用料2分の1を交付
- ▶宿泊施設新設に要した用地取得費、建設費の10分の1（上限2千万円）を交付
- ▶町民を常用雇用して、1年経過後1人当たり10万円（上限100万円）の奨励金を交付
- ▶開業から5年間、町内事業者からの調達に要した額（上限30万円）を交付

いずれも開業日から15年以上営業すること。
条件を満たさなくなった場合は、奨励金の全部又は一部の返還を求める。

今定例会の注目の議案 主なポイントを解説



こんな質問が出ました。

Q 佐々木 和志 議員

奨励措置の金額や対象期間設定の根拠は。

A まちづくり課長

全国の事例を参考に他自治体より有利な条件となるよう、金額面や優遇期間を設定したものです。

Q 佐々木 和志 議員

民設民営は理想的だが町の実態からすれば、公設民営の可能性も捨てきれない。条例以外の取り組みは。

A 沼澤町長

民設民営が基本だが、応募が無いときは最後の手段として公設も考えたい。現在2件の問い合わせがある。

〈議案第36号〉 三戸町奨学金条例の制定について

Pick up 2

二つの貸付型奨学金条例を
一つにします。新たに給付
型奨学金制度をつくりま

◆高校生以上に対する奨学金貸付を定めた「三戸町奨学金貸付条例」と、大学生のみを貸付対象とした「佐藤義典奨学金貸付条例」の二つを一本化します。

◆貸付型奨学金に加え、特に優秀と認められる大学生に対して、給付型奨学金制度を設けます。

こんな質問が出ました。

Q 佐々木 和志 議員

中学生の海外派遣や小学校での英語授業など国際化に対応した教育を推進している中で、奨学金制度だけが海外の大学を対象外とするのは、整合性に欠けるのではないか。

A 沼澤町長

国際化に対応した教育と奨学金制度は必ずしもリンクするものではない。国ごとに異なる大学の制度や難易度等を、一自治体が審査することは難しい。海外の大学への進学を希望する方は、日本学生支援機構等の奨学金を利用してほしい。

〈議案第52号〉 令和7年度三戸町一般会計補正予算（第1号）

Pick up 3

歳入歳出ともに69億3755万
円に6788万円を追加し、総
額を70億543万円にします。

主な歳出の内容は、定額減税補足給付金事業等3847万円、新型コロナウイルス接種事業費等1318万円。

こんな質問が出ました。

Q 澤田 道憲 議員

公用車カーナビのNHK放送受信料未払いについて、カーナビの設置から5年経過しているが、時効の有無を確認したのか。

A 総務課長

未契約の場合、支払義務は設置時まで遡るため、時効とはならない。

映像配信はこちらから



一般質問・議案審議など
ご覧になれます

第524回定例会議決結果一覧

ー6月定例会で決まったことー

議案番号	件 名	議決月日	議決結果
報告第1号	令和6年度三戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 【概要】令和6年度に予定されていた地方公共事業再編検討業務委託料ほか8件を令和7年度へ繰り越すもの。		町長報告済 (報告日:6月2日)
報告第2号	令和6年度三戸町簡易水道事業会計予算繰越計算書の報告について 【概要】修繕費を令和7年度へ繰り越すもの。		町長報告済 (報告日:6月2日)
報告第3号	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を決定することについて) 【概要】老人福祉センターにおいて、パイプ椅子が破損し利用者がけがをした件で、責任が町に生じたため、損害賠償額 53670 円を専決処分したもの。		町長報告済 (報告日:6月2日)
報告第4号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて (三戸町町税条例の一部を改正する条例) 【概要】個人町民税、軽自動車税、町たばこ税について条例改正したもの。	6月5日	原案承認
報告第5号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて (三戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 【概要】基礎課税額等の引き上げ、軽減措置の判定方法を改め対象範囲を拡大するなどの改正をしたもの。	6月5日	原案承認
報告第6号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて (三戸町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例) 【概要】適用期限を令和7年3月末から令和10年3月末へ延長したもの。	6月5日	原案承認
議案第35号	三戸町宿泊施設の誘致に関する条例の制定について 【概要】町内への宿泊施設誘致、宿泊施設の新設を促進するための各種奨励措置を規定するため、条例を新たに制定するもの。	6月5日	原案可決
議案第36号	三戸町奨学金条例の制定について 【概要】二つの貸付型奨学金条例を一本化し、貸付型奨学金に加えて給付型奨学金を創設するため、条例を新たに制定するもの。	6月5日	原案可決
議案第37号	三戸町人材育成基金条例の一部を改正する条例案 【概要】村井君子氏、村井博氏より現金 80 万円のご寄附を受けたことから、三戸町人材育成基金に積み立てるため、別表に氏名・住所及び寄付金額を追記するもの。	6月5日	原案可決
議案第38号 ↳ 議案第51号	三戸町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 【概要】令和7年9月4日に任期満了となることから、新農業委員 14 名について議会の同意を得るもの（関連 12 ページ）。	6月5日	原案同意
議案第52号	令和7年度三戸町一般会計補正予算（第1号） 【概要】歳入歳出ともに 69 億 3755 万円に 6788 万円を追加し、総額を 70 億 543 万円にするもの。歳出の主なものは、定額減税補足給付金事業等 3847 万円、新型コロナウイルスワクチン接種事業費等 1318 万円。	6月5日	原案可決
議案第53号	令和7年度三戸町簡易水道事業会計補正予算（第1号） 【概要】収益的収入では 99 万円の減額、収益的支出では総係費 199 万円を減額、配水及び給水費 100 万円を追加。資本的収入では企業債 230 万円、資本的支出では施設整備費 237 万円を追加。	6月5日	原案可決

※原案のとおり可決・承認・同意されたものは、いずれも賛成13・反対0（議長を除く）

五十嵐 淳 議員



Q ふるさと納税を支える農業への鳥獣被害対策について

ふるさと納税を支える農業の基盤強化として、鳥獣被害対策の充実が重要であると考え。農業には自然災害、鳥獣被害、価格変動、資材高騰、労働力不足、制度変更、感染症国際情勢など多様な外的リスクがあるが、特に鳥獣被害はリスクの拡大が見込まれ、町内でも被害が顕在化している。町の基幹産業である農業の安定的な生産体制を守るため、以下3点伺う。

- ① 鳥獣被害対策の政策上の位置付け
- ② 現状の被害認識と情報収集体制
- ③ 現行の対策と今後の方向性

Q・金網柵など面的防除の取り組みは？ A・来年度以降、モデル地区を検討

A 沼澤町長

① 有害鳥獣（ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシなど）による農作物の被害や農地の掘り起こし、住宅地への出没、フン害、人的被害など、農業だけでなく町民生活全体に影響を及ぼす重要な課題と認識している。町では関係各課や警察など関係機関と連携し、一体的に取り組む必要がある。

② 農業者や住民からの通報、被害対策実施隊のパトロール報告をもとに、被害状況や痕跡、出没頻度を把握している。報告に至らない被害についても、鳥獣被害対策実施隊員や地域おこし協力隊員が農業者等への聞き取りや出没場所の見回りを行い、被害の把握に努めている。

③ 狩猟免許取得や銃器所持許可の経費を全額補助するほか、捕獲わなや侵入防止柵の整備費用の一部を補助している。

これまででは被害が出た場所での捕獲や電気柵の設置を推奨してきたが、今後は農地や地区全体を囲う侵入防止柵を推奨していきたい。地域ぐるみで「寄せない、入れない、捕まえる」の一体的な取組を進め、安全・安心な営農環境の整備充実に努めていく。

再質問

町の具体的な連携体制や意思決定の場の設置、町民への周知や意識共有の取り組みは。

A 農林課長

農林課が主体となり、出没時は関係機関と連携し、見守りや巡回を実施。緊急時は連絡会議で連携体制を確認している。

町民への周知はこれまで特に行ってこなかったが、今後は餌場を作らない工夫など意識啓発を進めたい。

再質問

わなの捕獲効果や猟友会との連携、市街地出没時の対応、改正鳥獣保護管理法への準備状況は。

A 農林課長

わなの捕獲率はおおむね2割で、「寄せない、入れない、捕まえる」を基本に防除を進めている。市街地出没時は防災無線での周知や関係機関と連携した安全確保を行う。

改正法対応は国のガイドラインを遵守しつつ、猟友会とも意見交換を進める。

再質問

金網柵などの面的防除について、国の補助金活用やモデル地区設置の検討状況は。

A 農林課長

農地や地区全体を囲う防除は有効であり、国の補助事業の活用を視野に、地域と課題を共有しながらモデル地区の



設置を検討していく。地形的に適した地域や町有地での試験設置も視野に入れ、早期の実現に努めたい。



広い範囲で有害鳥獣を防ぐ金網柵



Q 賑わいの創造について

町の観光資源を活用し、誘客促進することで経済効果や活性化を目指す町長の考えに対し、観光資源の整理・活用、施策の継続性と一過性の区別、予算の重点配分、新たな観光資源の開発の面から、以下4点伺う。

- ① 国史跡三戸城跡城山公園を活用した事業に関して
- ② 町管理施設の顧客ニーズの対応について

- ③ 宿泊施設誘致に関して
- ④ 小規模ビジネスについて

A 沼澤町長

- ① 恒例の「さんのへ春まつり」の開催、春と秋のライトアップやイベントも予定している。桜木への施肥や野鳥対策を強化した結果が

Q・宿泊施設誘致の実現は？

A・誘致条例とトップセールスで実現

桜の開花状況に表れ、大きな賑わいにつながった。

今後国史跡で町のシンボルである三戸城跡城山公園を積極的に活用し、賑わいの創出につなげる。

- ② 施設利用者からの意見・要望をもとに改善を図り、利便性向上に努めている。利用者のニーズを把握し、安全・安心で快適な施設管理に務める。

- ③ 観光振興や地域経済の活性化に寄与し、住民生活の向上が期待されることから、本定例会に宿泊施設誘致に関する条例案を提案した。事業者へのトップセールスや奨励措置を周知し、誘致実現につなげたい。

- ④ 平成30年度から空き店舗等活用事業費補助金交付事業を実施し、令和7年度までの7年間で15件交付した。そのうちの11件が飲食ビジネスであり、今後は小売り、サービス、オンラインビジネスなど多様なビジネス

スが開かれ、さらなる賑わいにつながるよう小規模ビジネス開業を促進させる。

再質問

城山下山道2号線の通行止めの経緯は。対面通行となつた場合、観光客の安全性をどのように確保するのか。

A 沼澤町長

町民からの情報提供を受け、現地確認の結果、通行止めと判断した。

対面通行による春祭り期間の渋滞や観光客の安全確保のため、城山公園までのシャトルバスの運行を検討する。

再質問

「観光地の基本はトイレから」であり、城山公園をはじめ町内には明るく清潔なバリアフリートイレが必要である。オストメイトや大人用の簡易ベッド、高齢者、内部障がい者、子ども連れなど多様な人が利用できる機能を備えたトイレ

の整備をどのように考えているか。

A 沼澤町長

関根ふれあい公園はバリアフリートイレを設計時に考慮せずに建設された。新設や改修時には、バリアフリートイレを取り入れる。

観光地として、障がいをお持ちの方に配慮したトイレの整備を進めていきたい。

再質問

宿泊施設誘致に関する条例案には、各種の奨励措置が盛り込まれ、町長の公約に即した内容である。

しかし、現在の三戸町では宿泊者数確保や企業誘致が困難と考える。企業誘致に向けたさらなる取り組みは。

A 沼澤町長

観光客だけでなく、滞在型・拠点型観光のニーズにも対応できる宿泊施設の誘致が望ましいが、出店者と町の双方に



メリットがなければ実現は難しい。その点をトップセールスを通じて、事業者に丁寧に伝えていく。

〔用語〕バリアフリートイレ

高齢者、障害者、子連れなどすべての人が安心して利用できるトイレ。車いすやオストメイトに対応し、大人も利用できるようにおむつ替えシート、ベビーチェア、手すりなどを設置。「多機能トイレ」や「多目的トイレ」より幅広い利用者を想定。国土交通省は2021年にこの名称を推奨。



まだ少ないバリアフリートイレ(写真:関根ふれあい公園)

山田 将之 議員



Q 少子化時代の学校運営と教育支援について

少子化が進む中で教育委員会には、教職員や保護者の負担を軽減しつつ、子どもたちの学びの質を守り、向上させることが求められている。この観点から5点伺う。

- ① 町内小中学校の現状と課題は。
- ② 教職員への支援
- ③ 保護者への支援
- ④ 教育活動の質の維持・向上
- ⑤ 学校運営に対する支援

A 慶長教育長

- ① 児童生徒数は令和7年5月時点で440名となり、5年間で155名減少した。1学年1学級のため人間関係の固定化などが課題だが、少人数ゆえの丁寧な指導が可能である。

Q・町内店舗のキャッシュレス決済導入支援は？
A・情報提供などで後押し

導が可能である。

- ② 教員には特別講師やチューターを配置し、今年度はチューター2名を増員予定。校務支援システムの導入により業務負担の軽減も図る。
- ③ 保護者の負担軽減に向け地域と連携したコミュニティ・スクールを推進する。
- ④ 小中一貫教育の乗り入れ授業や学校間の合同授業等により、教育の質も維持されている。
- ⑤ 保護者連絡アプリ「テトル」に集金機能も追加し、学校運営の効率化を支援していく。

再質問

スマートシユリンク（賢く縮む）という視点から教育支援を再構築する考えは。

A 慶長教育長

将来的な統廃合も視野に、小中一貫教育や地域との連携を進める。教育委員会は伴走型の支援体制で、必要に応じて助言や指導を行っていく。

Q 公園遊具の更新と全天候型遊び場の整備について

城山公園では一部遊具が使用できず、関根ふれあい公園でも同様の状況が見られた。猛暑や豪雨により屋外で遊べない日も増えている中、町長の公約である「屋内遊び場の新設」、「屋外遊具の充実」の実現が求められる。この点について4点伺う。

- ① 遊具の復旧・更新スケジュール
- ② 老朽化の状況と更新計画
- ③ 屋内遊び場整備に関する考え
- ④ 多世代交流や防災機能を備えた遊び場整備

A 沼澤町長

- ① 令和5年12月に町内4公園の遊具点検を実施し、安全基準を満たさない遊具は使用を中止した。軽度の異常は修繕で対応した。
- ② 全ての遊具は設置から25



会議録

Q キャッシュレス決済の導入促進について

- ③ 屋内遊び場については、周辺自治体の事例を視察予定。既存施設の活用を含め検討する。
- ④ 限られた予算の中で、子育て世代のニーズを反映した多機能・未来志向の施設整備を進める。

キャッシュレス決済が普及する中、行政サービスの利便性向上と業務効率化のため、三戸町でも導入すべきと考え、以下3点伺う。

- ① 町の窓口での導入状況・方針は。
- ② 近隣自治体における導入時の評価と、当町での導入の可能性は。
- ③ 町内事業者への支援や周知について。

A 沼澤町長

- ① 現在、キャッシュレス決済が可能な町施設は、三戸中央病院と道の駅のみ。町税と下水道使用料は、QRコードによる納付が可能。町長就任後すぐに窓口でも導入方針を示し、方式や財源を検討中である。
- ② 近隣自治体ではすでに導入が進んでおり、利便性の向上が評価されているため、町も導入を進めていく。
- ③ 観光客の利便性や売上向上にもつながることから、商工会などと連携し、導入促進に向け積極的に取り組む。

再質問

高齢者など現金を使い慣れた方への配慮やサポート体制は。

A 総務課長

窓口には職員の配置を前提に、現金併用型のセルフ型レジを検討している。



Q 空き家対策について

空き家の増加は全国的な社会問題であり、本町においても今後さらに増加傾向となることが予想される。

空き家の適正な管理や有効活用、また解体撤去促進による移住定住への効果の観点から、町として積極的に取り組む必要性があると考えます。

空き家対策に関する町の考え方と、今後の取り組みについて答弁を求めます。

A 沼澤町長

令和5年に総務省が実施した調査では、全国の総住宅数は、6504万7千戸。そのうち、空き家数は13・8%の900万2千戸。空き家数のうち、賃貸、売却用や別荘などの二次的住宅を除く空き家は、総住宅数の5・9%にあ

Q・空き家対策への取り組みは？

A・年内に対策計画を策定

る385万6千戸。平成30年と比較し、36万9千戸が増加という調査結果が示されている。

青森県の空き家数は、総住宅数の16・7%の約9万8千戸。二次的住宅を除くと、9・3%の約5万5千戸。平成30年と比較し、約9千戸増加した町では、平成27年度に実施した空き家等実態調査で、324戸の空き家が確認された。国や県と同様、増加していることから、現在の空き家数及び老朽度、危険度の判定を行うとともに、データベースを作成するため、先月、空き家等実態調査に着手した。

本調査の結果をもとに、空き家等対策協議会の設置及び空き家等対策計画の策定に取り組む。

空き家対策は住環境の整備や、まちなみ保全といった観点から重要な課題であり、町民の安全・安心かつ快適な生活に資することから、適切に進めていく。

再質問

今後の事業スケジュールは。

A 総務町長

本年9月までに空き家等実態調査を完了し、年度内の協議会設置と、空き家等対策計画策定を予定。

再質問

将来空き家になる可能性が高い高齢者世帯の状況も把握した方が良いのでは。

A 総務町長

今回の調査はあくまで現時点での空き家を対象としたもの。調査結果をもとに、住民基本台帳から世帯構成のデータをリンクさせ補足したい。



町内約300戸、増加する空き家



会議録



栗谷川柳子 議員



Q 観光振興に関する具体的な施策について

町長は先の町長選挙において、観光振興を主要な公約の一つとして掲げた。公約の実現に向けた具体的な施策や、進捗状況は。

- ① 観光振興の全体像と目標
- ② 具体的な誘客施策
- ③ 地域経済への波及効果
- ④ 関係事業者や団体との連携・協働

A 沼澤町長

① 第5次三戸町総合振興計画後期基本計画において、年間観光入込者数を令和10年度には、5年度から、約17%増の63.5万人とする目標を掲げる。
三戸城跡や関根の松、馬場のぼる氏の出身地といっ

Q 観光振興の具体的施策は？

A 宿泊施設誘致に全力で取り組む

た観光資源を活かす。

地域に埋もれた観光資源を発掘し、春夏秋冬の町の魅力を発信するとともに、年間を通じた観光入込客数の増加による賑わいの創出と地域経済の発展につなげていく。

② 町公式SNSの活用、大手旅行ガイドブックへの掲載など、様々な媒体を活用した情報発信により、町外からの誘客を強化する。おもてなしにも力を入れる。

宿泊施設の誘致に関する条例の制定と誘致活動により、観光客の受入体制整備に努め、誘客施策を効果的に進める基盤づくりを行う。

③ 直接的な経済効果（飲食・宿泊・買い物・交通等）と間接的な経済効果（雇用創出等）が、地域経済の活性化に大きく貢献するため、観光振興に向け積極的に取り組む。特に、長年の課題であった宿泊施設誘致に向けた活動に注力する。

④ イベントの企画運営、町の魅力発信や特産品の開発などに取り組む団体や事業者と町活性化に向け、連携・協働し、三戸町前進のため町と関係者が一丸となり、観光振興に向けた取り組みを進めていく。

再質問

観光全般の考え方は。

A 沼澤町長

国土交通省観光政策審議会の答申書では観光産業を、経済構造を安定させ新しい雇用を創出できるとしている。三戸町も観光立町のような強い思いを持って盛り上げたい。

A 本宿副町長

町民一体で町の魅力を掘り起こしていくこと、しっかりと届けること、笑顔でもてなしをすること、この3つのサイクルを回していくことが重要。トータルで取り組み、町の前進につなげていきたい。

Q 熱中症予防対策の実績と今後について

全国でも上位の暑い町、三戸町。町民の生命と健康を守ることは行政の重要な責務である。熱中症予防対策の実績と、今後のさらなる強化策について2点伺う。

① これまでの熱中症予防対策の実績と評価

② 今後の熱中症予防対策の強化と計画

A 沼澤町長

① 日々の熱中症対策として、涼み処や熱中症特別警戒アラートが発表された際に、暑さをしのぐ場所として開放するクーリングシエルターを指定した。

チャラシや防災行政無線による注意喚起、非課税高齢者世帯等を対象としたエアコン設置に対する補助金制度を創設し、実施してきた。涼み処は令和5年度に役



会議録

場・ふくじゅそう・町立図書館の3カ所に設置し、令和6年度、中央公民館など新たに7カ所を追加した。クーリングシエルターは、役場庁舎ほか11カ所を指定した。非課税高齢者世帯等を対象としたエアコン設置補助金は、昨年度から実施し、37台分を交付した。

② 熱中症の危険が想定される際には、一人暮らしほつとラインや防災行政無線を活用し、注意喚起を強化する。エアコンが未設置である町有施設的环境整備に取り組んでいく。





Q 公園の整備方針と現状認識について

町の公園の一部の遊具が使用禁止となり、利用者からの不安や残念に思う声も聞かれている。この点に関して5点伺う。

- ①城山公園と関根ふれあい公園の遊具は、春まつり前に多くが使用禁止となった。町はどのように認識しているのか。
- ②現在使用禁止中の城山公園の遊具について、今後、更新・撤去・整備の予定は。
- ③以前の答弁で、関根ふれあい公園に児童向け遊具や健康遊具の配置、あずまやスペースの設置を検討中とのことだったが、具体的な計画は。
- ④松原公園の遊具も使用禁止のものが増えている。今後の整備計画は。
- ⑤沖中児童公園の管理を町内会

Q・ふれあい公園の整備方針は？

A・来年度、当初予算に計上

に委託しているが、遊具の手入れや休憩スペースの屋根の設置等を町が実施できないか。

A 沼澤町長

- ① 昨年12月に専門業者による安全点検を実施した。安全基準未滿の遊具は、点検報告後直ちに使用を停止した。

春まつり期間中のため改めて使用できない旨の表示を追加した。

- ② 安全基準未滿のものは撤去。国史跡の城山公園では、用途以外では土地掘削等の現状変更が原則認められず、遊具の新設はできない。

- ③ 現在素案を策定中。子育て世代をはじめ公園利用者からのご意見を伺い、整備計画の策定を進め、令和八年度当初予算への事業費計上に取り組む。

- ④ 利用状況等を勘案し対応する。

- ⑤ 元木平町内会へ管理委託している以外は町が整備している。

る。今後も連携し適切に実施する。

再質問

使用禁止の遊具が多い中、幼児用遊具とブランコは使用可能である。これらも撤去されるのか。

A まちづくり課長

現在使用できるものは、使用を継続する。史跡の適切な保存と景観形成の観点から、将来的には撤去の方針である。

Q 町民歌の継承と活用について

町民歌は、町の自然、歴史、先人や町民の思いが込められた大切な文化的資産である。郷土への愛着や連帯感を高める町のシンボルの一つとしての使命があると考え、3点伺う。

- ①町民歌が制定された当時に込められた思いをどのように認識しているのか。町の文化政策や教育の中で町民歌をどの



会議録

ように位置づけているか。

- ②現在、町民歌はどのような場所で開催・歌唱されているか。町公式行事や地域イベントなどでの具体的な状況は。

- ③成人を祝う会では、慣例として町民歌を歌うことになっているが、歌えない若者が増えていることから、小中学生から学校行事や地域イベントなどで、町民歌を活用する取り組みを考えられないか。

A 沼澤町長 ①について

町民歌は昭和40年（1965）、新三戸町発足10周年を記念して制定された。歌詞の中に、三戸町のまちづくりや教育のあるべき姿や理想像が示されている。

A 教育長 ②・③について

町主催行事では、町民大運動会、20歳を祝う会、文化賞・スポーツ賞授賞式、新年会など。町民歌斉唱時に歌声が聞こえないのが実情である。学校行事や式典等では町民歌を斉唱する機会はなかった。町民歌について

知る機会を設けられないか、学校側と協議する。

再質問

町の広報誌などを通じて、町民歌誕生の背景と歴史を伝えることで、町民歌が広がっていくのではないかと。特集を検討してほしい。

A まちづくり課長

今年度中に町長公約の七本の柱の一つ、健康長寿について特集を組み、町民歌に込められた先人の健康への思いを紹介したい。

再質問

立志科のふるさと学習と連携し、町民歌を学ぶことはできないか。学校側の負担を減らすため、教材提供や外部講師（町おこし協力隊）の派遣をする考えはあるか。

A 教育委員会事務局長

立志科は町の特別な授業で、ふるさと三戸を知る一番の機会である。できるだけ協議したい。外部講師派遣は、人材活用的一面からも積極的な活用を考えたい。

議会活動レポート



Facebook
でも発信中!!

総務文教常任委員会

山田 将之・藤原 文雄
小笠原君男・千葉 有子
竹原 義人



第16分団(袴田) 屯所での調査のようす

消防団の管理運営状況

5月30日、町消防団の運営や設備等の管理状況を調査するため、第16分団(袴田)、第17分団(下田)、第14分団(大舌)、第13分団(斗内)の屯所を訪ねました。

【調査結果・意見等】

消防団活動について、貴重な意見と今後の方向性を聴くことができた。これを踏まえ、町民の安心・安全につながる活動を継続するとともに、団内での認識共有を図りながら、団員確保にも努めてほしい。

民生商工常任委員会

栗谷川 柳子・柳 圭太
澤田 道憲・和田 誠
松尾 道郎

① 歯科口腔保健事業

② 認知症対策事業

5月13日、健康長寿課より聞き取り調査を行いました。

【調査結果・意見等】

① 令和7年度には、拡充される幼児フッ素塗布事業、新規事業となる妊婦歯科健康診査、歯周疾患健診、後期高齢者歯周疾患健診、以上4事業により、胎児から高齢者までの歯科口腔保健を推進する体制が整った。周知に力を入れ町民への意識付けを図り、定着させてほしい。

②

認知症対策事業は長期的な視野のもと綿密に計画され、多種多様な事業が用意されている。町民への周知を図り、認知症に関する情報や町民のニーズを地域包括支援センターへ集約させ、その機能を十分に発揮してほしい。



歯科口腔保健事業、認知症対策事業を学びました

建設農林常任委員会

久慈 聡・番屋 博光
五十嵐 淳・佐々木和志

蛇沼簡易水道及び町道等道路の管理運営状況

5月27日、町内道路の管理状況について、現地調査を行いました。

【調査結果・意見等】

蛇沼簡易水道

・配水管が老朽化し、今後も漏水する可能性があるため、配水管の布設替を計画的に実施するなど漏水未然防止に努めてほしい。

町道等道路の管理運営状況

・道路損傷箇所等の把握のため、郵便局及びタクシー会社との連携を強化し、迅速な対応を行ってほしい。
・馬喰町金堀線の排水対応策は、方向性が決まった時点で報告してほしい。



支障木調査のようす

研修報告

町村議会広報研修会

- 期 日 令和7年5月21日
- 場 所 青森県労働福祉会館
- 講 師 芳野政明氏
- 参加者 山田将之委員長
栗谷川柳子副委員長
藤原文雄委員

○演題
「議会の「見える化」と
住民との「信頼」築く」



議会広報は

「信頼づくり」の第一歩

講師の芳野氏が強調したのは、議会広報は単なる情報発信ではなく、議会の情報を住民に伝え、議会への関心と参加を促すための重要な手段であるということでした。

そして、これまでの住民が「読むもの」から「参加するもの」へと意識を転換していくこと、紙面づくりでは、見やすさ・わかりやすさ・好印象を意識し、キャッチコピーや写真、見出しの工夫が効果的であること学びました。

議員が編集や執筆に積極的に関わることで記事に深みと熱意が生まれ、住民との信頼関係の構築につながるなどの指摘は、とても参考になりました。

(山田 将之)



よりよい議会広報づくりを学びました

県下町村議会議員研修会

- 期 日 令和7年7月10日
- 場 所 ホテル青森
- 講 師 政治アナリスト
伊藤 惇夫氏

○演題
「今後の政局・政治展望」

伊藤氏はまもなく実施される参議院選挙を前に、私たち一人ひとりがどのような国の未来に向き合うべきかを、多くのエピソードを交えながら講演しました。



テレビでおなじみの伊藤惇夫氏

政治の現状と国会の役割

現在の国会運営の課題として、政策決定の過程における透明性の確保や、議論の質の向上が必要である。

政治家には感情と理性の両面を大切にしながら、相手を「論破」することなく、「対話」と「説得」による合意形成を目指す姿勢が求められる。

経済状況と食料の安全保障

長期にわたる経済の停滞により、個人の所得や国際的な経済指標において厳しい状況が続いている。

特に、食料自給率の低さや備蓄体制の脆弱さは、国の安全保障にも関わる重要な課題である。

少子化と社会の変化

出生数の減少や未婚率の上昇、非正規雇用の増加などが少子化に影響を与えている。物価上昇や経済的な不安が広がる中で、社会全体がいかに安心して暮らせる環境を整えていくかが、今後の大きなテーマである。

有権者としての役割

わたしたち一人ひとりが社会の構成員として、自らの意思を選挙という形で示すことの大切さである。選挙は、将来の日本を方向づける重要な機会。周囲の方々にも声をかけながら、ぜひ積極的に投票してほしい。

人事案件

◆農業委員

令和7年9月4日、任期満了となる委員14名の任命に同意しました。新農業委員は次のとおりです。

氏名	行政区	区分	氏名	行政区	区分
佐々木 俊一氏	泉山	再任	一ノ渡 重義氏	戸川	再任
千澤 正知氏	蛇沼	再任	井 畑 育子氏	下田	新任
照井 秀美氏	元木平	再任	梅田 晃氏	梅内	再任
中澤 隆浩氏	猿辺	再任	上野 敏昭氏	目時	再任
馬場 富士夫氏	元木平	新任	老久保 修氏	杉沢	新任
武士沢 隆悦氏	同心町	再任	神谷 陽一氏	大舌	再任
山下 勝弘氏	斗川	新任	坂本 厚子氏	斗川	再任

スマートフォン・タブレット・PCでいつ・どこからでも議会映像を見ることができます。 ※ライブ配信のほか、過去の議会も閲覧できます。



マークは、チャンネル登録ボタンを押すと表示されます。ここで「すべて」を選ぶと、ライブ配信開始の通知を受け取ることが出来ます。

9月議会(第525回定例会)予定

9月2日(火)	開会、町長による提案理由の説明
9月4日(木)	一般質問
9月5日(金)	一般質問(予備日)、議案審議・採決
9月8日(月)	決算特別委員会
9月9日(火)	決算特別委員会、本会議、閉会

※3日、6日、7日は休会

編集後記



住民自治という言葉があります。人が多くいるという事は、それだけで一定の共助能力が発生するものですが、逆に高齢化が進み人口が減少していく中にあるのは、共助能力は急激に縮小していきます。

本町のみならず、全国的にも想像を超えるスピードで人口減少が進んでいる現代社会においては、これまで以上に共助やコミュニティを意識する必要があるように思います。

行政の役割はもちろん大事ではありますが、地域活動への積極的な参加によって住民間の助け合いや協力が生まれ、それが地域の様々な課題、問題の解決に対して大きな効果を生む事につながります。これから秋まつりを迎え、町が活気にあふれる季節となります。単なる一つの祭りで終わらず、地域の連帯を深め少しでも住民主導の自治に結びつくよう、多くの町民が参加して盛り上がるような秋まつりになるよう願います。

(佐々木 和志)

三戸町議会広報編集委員会
委員長 山田 将之
副委員長 栗谷川 柳子
委員 五十嵐 淳
藤原 文雄
久慈 聡
佐々木 和志